



環境からみた都市における農業の必要性

～農業の多面的機能による都市への環境貢献と都市と農業の連携について～

全国農業協同組合連合会 神奈川県本部

農業のもつ多面的機能とは？

	<p>食料生産 安全かつ新鮮、多彩な農産物を安定的に供給</p>		<p>景観形成 うるおいのある景観の形成</p>		<p>防災・保安 災害時の避難場所・避難路、防災緑地、延焼の遮断、仮設住宅の建設地</p>
	<p>気温上昇緩和 水田や農作物からの多くの水分の蒸発と共に周囲の熱を奪う</p>		<p>保養空間 憩い、レジャー等のやすらぎの場</p>		<p>地域コミュニティ 話合いや共同作業を通して維持される人々の絆や扶助の精神</p>
	<p>国土保全 洪水防止、土壌侵食防止や地下水涵養等の国土保全機能</p>		<p>教育学習（農業） 子供たちや都市住民の農業体験</p>		<p>生態系保全 動植物が生息する貴重な生態系空間</p>
	<p>水質浄化機能 水路等の自然の浄化機能や水田の脱窒素効果</p>		<p>教育学習（自然） 自然にふれあう安全な体験学習の場</p>		<p>伝統文化保全 多彩な伝統芸や文化的・歴史的遺産の宝庫</p>

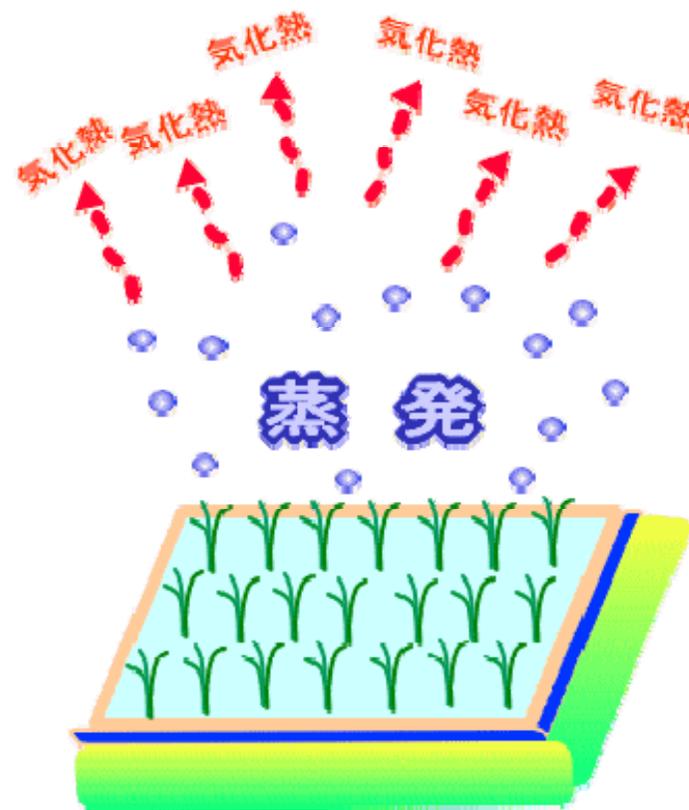
農業の多面的機能の貨幣評価

機能	評価の概要	評価額 (神奈川県)	評価額 (全国)
洪水防止	水田及び畑の大雨時における貯水能力(水田52億 m^3 、畑8億 m^3)を治水ダムの減価償却費及び年間維持費により評価した額	154億円	3兆4,988億円
水資源涵養	水田のかんがい用水を河川に安定的に還元して再利用に寄与する能力(638 m^3 /秒)及び水田・畑の地下水涵養量(37億 m^3)を、それぞれ離水ダムの減価償却費及び水価割合額(地下水と上水道との利用料の差額)により評価した額	37億円	1兆5,170億円
気候緩和	水田による夏季の気温低下能力(平均1.3 $^{\circ}C$)を、冷房電気料金により評価した額	2億円	87億円
保健休養・やすらぎ	農業・農村が有する保険休養機能を、農村地域への旅行者及び帰省者の旅行費用により評価した額	2,199億円	2兆3,758億円

気温上昇の緩和

緑が少なく、舗装が進んだ都市やその近郊では、最近、ヒートアイランド現象などの温暖化が問題となっています。

水田や畑があることによって、農作物から多くの水分が蒸発し、同時に周囲の熱が奪われるため、気温の上昇が緩やかになっています。



愛知県海部農林水産事務所HPより

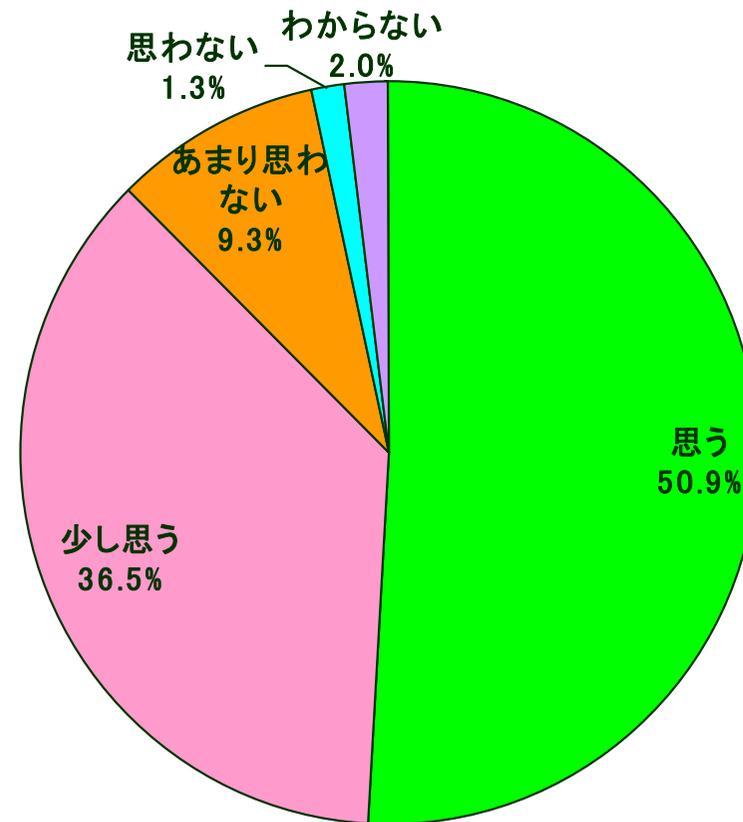
都市住民の農業・農地への思い①

～都市及び都市周辺の農業・農地が果たしている役割について～

騒音防止効果、都市部の気候緩和、
洪水の緩和など生活環境保全の役割

「思う」の回答50.9%と「少し思う」の
回答36.5%を併せて、87.4%の方が
農業・農地が生活環境保全の役割を
はたしていると思っている。

(関東農政局 第15回食と農に関するアンケート(H19.5)結果より)



安らぎを与える景観の形成

農業が営まれている景観は、古来から日本に伝えられてきた風景であり、日本人の文化、心のよりどころともいえます。

農作物が育てられ、四季の移り変わりが感じとれる農業(農地)が身近にあることにより、人々に安らぎを与え、気分を落ち着かせる効果があると言われています。



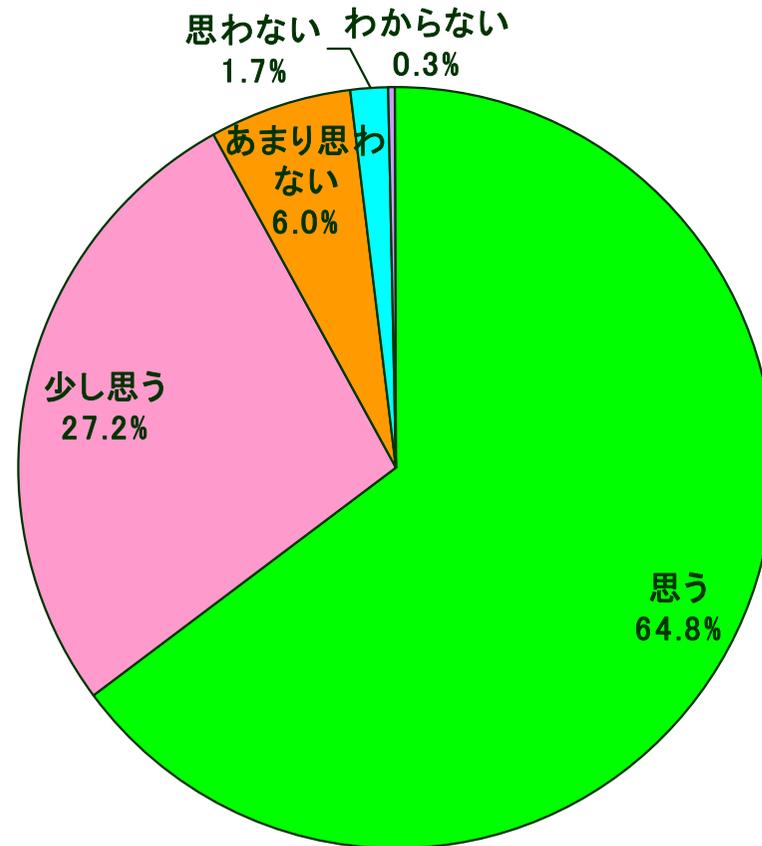
都市住民の農業・農地への思い②

～都市及び都市周辺の農業・農地が果たしている役割について～

緑地空間、景観の形成などうるおい・
いやし・ゆとりなどの場を提供

「思う」の回答64.8%と「少し思う」の
回答27.2%を併せて、92%の方が
農業・農地がうるおい・いやし・ゆとり
などの場を提供する役割をはたしてい
ると思っている。

(関東農政局 第15回食と農に関するアンケート(H19.5)結果より)



教育学習

- **農業への理解・関心の向上**
 - ・ 農業体験は、農業生産の仕組みや農業の果たしている役割を理解する貴重な機会の提供となります。
 - ・ 子供たちの食に対する関心と理解を深める食育推進の一環となります。

- **自然体験**
 - ・ 自然観察や生命の尊さの理解などの情操を養う場となります。



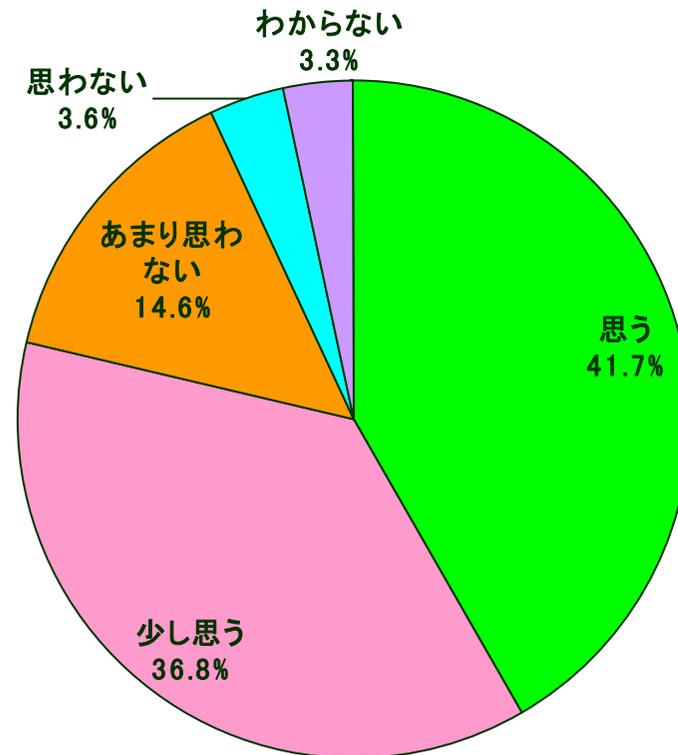
都市住民の農業・農地への思い③

～都市及び都市周辺の農業・農地が果たしている役割について～

都市住民や児童・学童などに農業体験
活動や食育の場を提供

「思う」の回答41.7%と「少し思う」の回答
36.8%を併せて、78.5%の方が農業・農地
が農業体験や食育の場を提供する役割を
はたしていると思っている。

(関東農政局 第15回食と農に関するアンケート(H19.5)結果より)



防災・保安

災害時には、一時的な非難空間や仮設住宅等の建設用地が必要となりますが、公園などの公有地だけでは十分ではないため、農地を農家の善意により災害時に一時避難場所や仮設住宅建設用地・復旧用資材置き場として利用する制度が、横浜市（登録農地277ha）と川崎市（登録農地72.9ha）に創設されています。



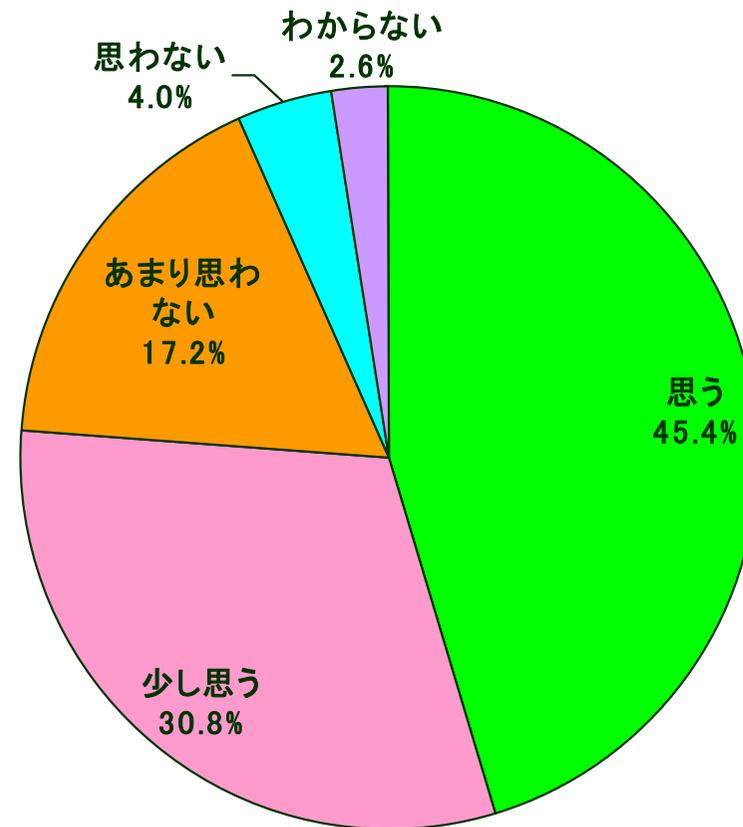
都市住民の農業・農地への思い④

～都市及び都市周辺の農業・農地が果たしている役割について～

火災時の延焼防止、災害時の避難場所など防災機能の役割

「思う」の回答45.4%と「少し思う」の回答30.8%を併せて、76.2%の方が農業・農地が防災機能の役割をはたしていると思っている。

(関東農政局 第15回食と農に関するアンケート(H19.5)結果より)



コミュニティの形成

■ 市民農園利用者のつながり

- ・利用者同士や農家との交流によりコミュニティが形成され、自主的にイベント等の活動が行われるようになると、さらに活動を通じて農園内のコミュニティが広がる可能性があります。
- ・また、農園周辺の緑化整備などの地域活動や援農活動に、その輪が広がっていく可能性もあります。



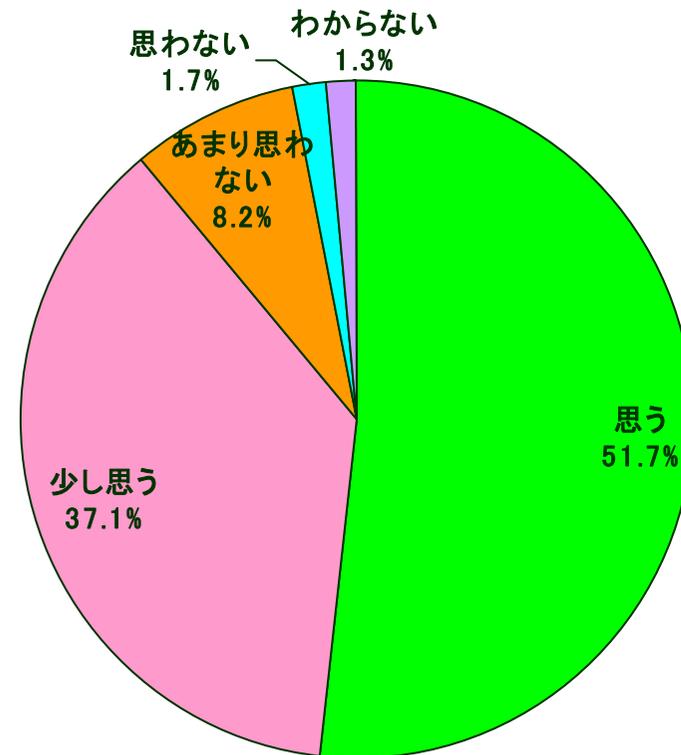
都市住民の農業・農地への思い⑤

～都市及び都市周辺の農業・農地が果たしている役割について～

市民農園などの利用で健康増進、
生きがいづくり、ふれあいなどの場を
提供

「思う」の回答51.7%と「少し思う」の
回答37.1%を併せて、88.8%の方が
健康増進、生きがいづくり、ふれあい
などの場を提供する役割をはたしてい
ると思っている。

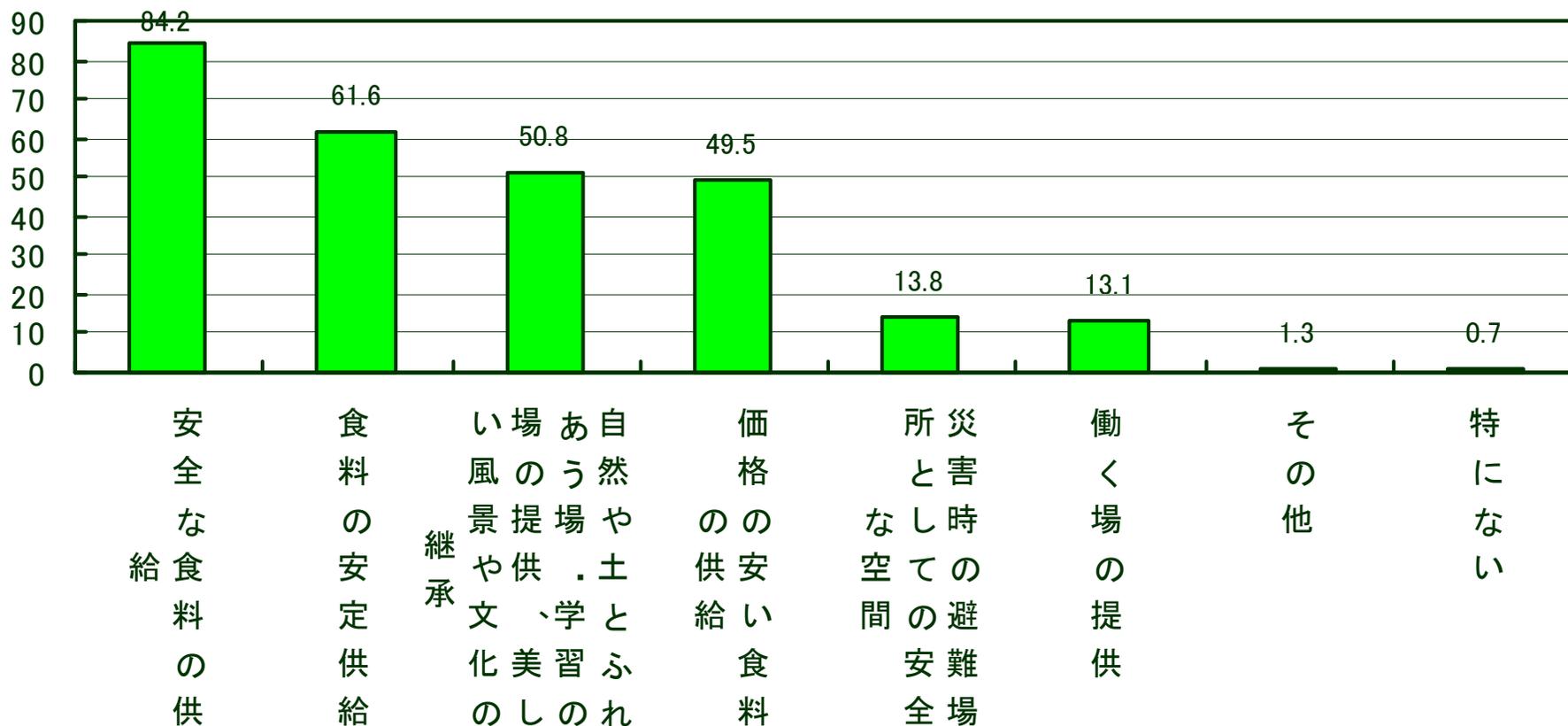
(関東農政局 第15回食と農に関するアンケート(H19.5)結果より)



都市住民の農地・農業への思い⑥

～神奈川県農業の役割としてどのようなことが重要だと思う？～

「食料供給」という回答が最も多いが、「自然や土とふれあう場・学習の場の提供、美しい風景や文化の継承」という回答にも50%を超える回答がされており、単なる食料供給の場だけではないという認識が持たれてきている。(平成18年度県政モニター県政課題アンケート「神奈川の農業と地産地消」結果より)

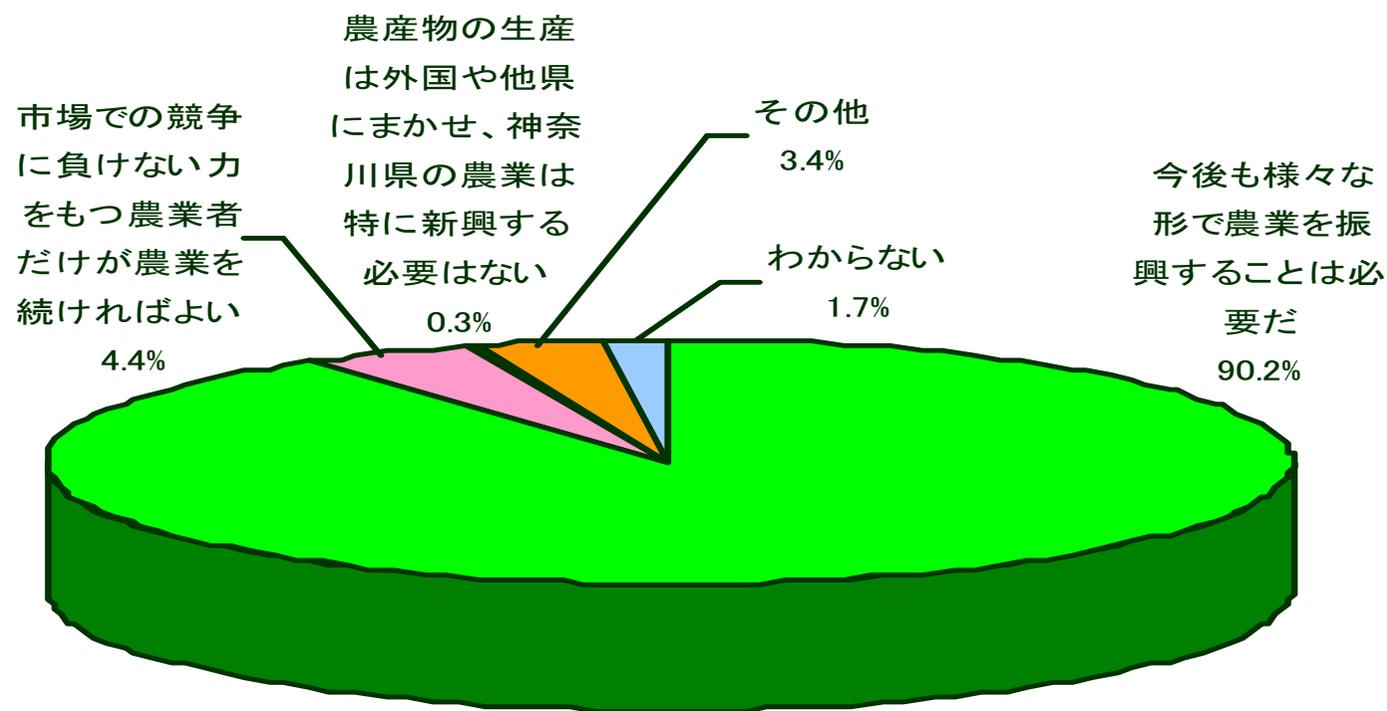


都市住民の農地・農業への思い⑦

～将来の神奈川県農業をどのようにしたらよいと思う？～

「今後も様々な形で農業を振興することは必要だ」と90%を超える方が思っている。

(平成18年度県政モニター県政課題アンケート「神奈川の農業と地産地消」結果より)



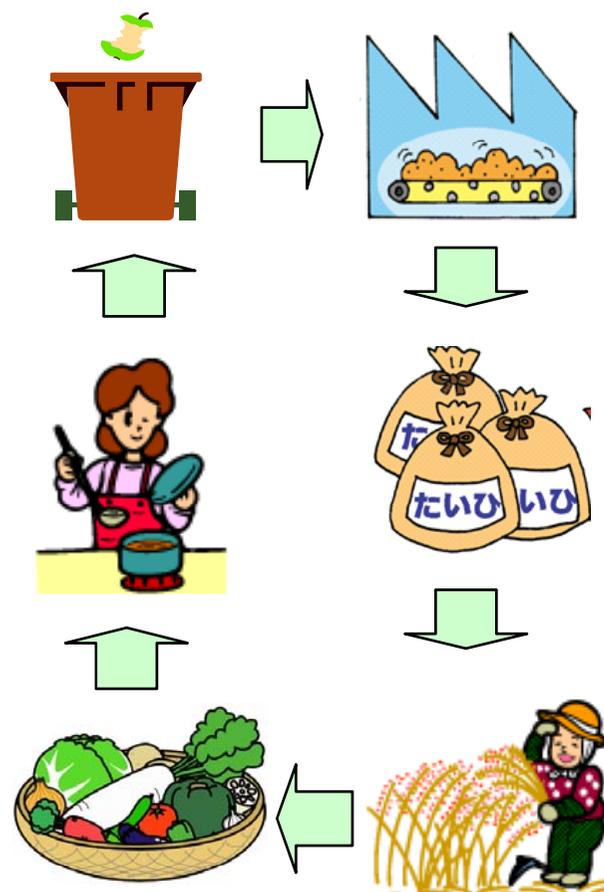
農業と住民をつなぐ循環システム

レインボープラン（山形県長井市）

- ・ 農家と消費者との協力により相互理解を深め、地域循環システムを創り出すことで、有機資源のリサイクルを図り、環境改善と健康な食生活を生み出し、自然と人間の永続的な共存を図っていくために下記の目標を掲げ実施中。

《基本目標》

- 有機物の再資源化
- 有料堆肥の生産
- 土づくり・有機農産物の生産
- 域産域消による農産物の流通
- 農業担い手育成



END